

自己評価報告書

平成 23 年 4 月 15 日現在

機関番号：32612

研究種目：若手研究(B)

研究期間：2008～2012

課題番号：20700225

研究課題名(和文) XMLによる初期刊本の本文記述の方法論の確立と印刷史研究への応用

研究課題名(英文) Towards Methodology of Transcription of Incunabula in XML and the Application to the Study of Printing History

研究代表者

安形 麻理 (AGATA MARI)

慶應義塾大学・文学部・助教

研究者番号：70433729

研究分野：図書館情報学

科研費の分科・細目：図書館情報学・人文社会情報学

キーワード：書誌学 印刷史 初期刊本 グーテンベルク聖書 トランスクリプション

1. 研究計画の概要

本研究の目的は、第一に、書誌学的な研究に有用であるような XML による初期刊本の本文の記述(トランスクリプション)の方法論を確立することである。第二の目的は、その方法論に基づき、西洋最初の活版印刷本であるグーテンベルク聖書を対象として XML によるトランスクリプションを作成し、データベースの構築・公開を行い、それをを用いてグーテンベルク聖書の印刷工程の解明に向けた研究を進めることである。

2. 研究の進捗状況

本研究では、(1)書誌学的な研究に有益な初期刊本の XML による本文記述の方法論の確立、(2)グーテンベルク聖書の本文記述、(3)それをを用いたグーテンベルク聖書の印刷工程の解明に向けた研究、という三つの具体的な課題を設定している。

これまで、課題(1)および(2)を中心に取り組んできた。(1)については、文献調査および TEI (Text Encoding Initiative) による XML のガイドラインや先行事例、さらに著者のこれまでの研究成果やオリジナル資料の調査に基づき、記述に必要なタグを検討した。また、学会発表等を通じて先導的な初期刊本の研究者との意見交換を行った。

(2)については、効率的なデータ作成方法を検討し、入力者を訓練したうえで、グーテンベルク聖書の本文記述データの作成を開始した。

3. 現在までの達成度

おおむね順調に進展している。

育児休業による研究の中断をはさんだものの、データ入力者2名の訓練を終え、トランスクリプション・データの作成を開始することができた。

4. 今後の研究の推進方策

本研究では、一般的なトランスクリプションに比べ、異字体を厳密に区別するなど詳細なデータを作成しているため、入力・確認・修正作業に非常に時間がかかっている。入力用マニュアルを改善することで、作業効率の向上を図る予定である。

5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

〔学会発表〕(計1件)

Mari Agata, Toward a New Method of Collation with the Aid of Digital Images, The Fifty-Sixth Annual Meeting of the Renaissance Society of America, 2010年4月8日、ヴェネツィア大学(イタリア)。

〔図書〕(計1件)

安形麻理, 勉誠出版、デジタル書物学事始め:グーテンベルク聖書とその周辺、2010年、211p。